広報 おだわら
ODAWARA PUBLIC INFORMATION

平成7年10月15日
October 15, 1995　No.661

発行：小田原市役所
〒250小田原市荻窪300番地
毎月1・15日発行
編集：広報広聴課(☎33-1261)

5年ぶりにお城を背に上演
かがり火に浮かぶ幽玄美
小田原城薪能

「第13回小田原城薪能」が10月3日夜、小田原城を背にした天守閣広場の特設舞台で開かれました。

毎年恒例の行事として楽しみにしている人も多く、前売り券1100席はすぐに完売。今年は天候に恵まれ、5年ぶりに天守閣前広場で開かれるとあって、当日売り2000席を求めて、お昼ごろから並ぶ人の姿も見られました。

秋の日が落ちると、闇の中にライトアップされた白亜の天守閣が浮かび上がり、かがり火で舞台が照らされ、幻想の世界を演出。

人間国宝・観世銕之丞さんは、都落ちした平清経の悲劇を描いた能『清経』を、口上を教え昆布を売らせる狂言『昆布売』を野村万斎さんが、能『殺生石』を観世栄夫さんが演じました。

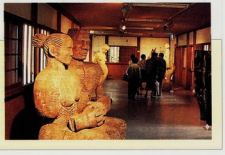
秋の夜長に繰り広げられた古典芸能の幽玄美に、約1300人の観客はうっとりしながら見とれていました。

主な内容

行政改革推進委が第1次答申……2
掘ら せ心・響け歌声……4
関東学院大学湘浪祭……8

木の美しさを木彫で表現
現代アート24作品を展示

新進気鋭の若手アーチスト22人による『現代アート彫刻展 in 城下町』が9月15日から10月8日まで、小田原城常盤木門展示場で開かれました。クス、カツラなどを素材に、夫婦像、裸婦像からオブジェまで幅広い現代彫刻が展示され、不思議な空間を作り出していました。



行政改革

明日の市役所づくりに向けて 推進委が第1次答申

4月28日に発足した小田原市行政改革推進委員会（以下、委員会）は9月6日、行政改革の基本的な方向を示す第1次答申を市長に提出した。

委員会に対し市は、市役所の在り方に関した諮問を していました。また、小田原方式の行政改革」の名のもとに委員会の同時に発足した小田原市行政改革市民会議には、市民の立場から市役所の仕事の調査と検討を行なっています。

今回の答申は、いろいろな角度から市役所の仕事に関して審議を進めてきたものです。答申づくりに当たっては、①市民の視点に立った行政改革、②まちづくりの新しいシステムを創造するための行政改革、③職・職員を活性化するための行政改革、の3つの視点で諸問事項の審議がなされました。

第1次答申の特徴

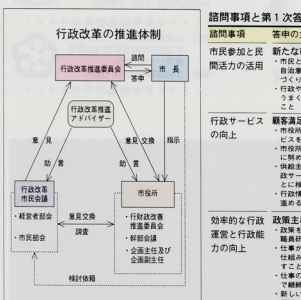
今回の答申は、内部事務の簡素化など効率的な行財政運営を前提に、今後の方向を示唆としています。その大きな柱は、①新たな市民参加、②顧客満足のための行政サービス、③政策主型の行政運営、の3本です。また、地方分権の推進に向けての自治の政策を実行する体制づくりや、広域レベルでの行政運営にも触れています。

委員会は、引き続き行政改革の進捗状況を受けながら、具体的に取り組むべきことを整理し、来年1月ごろまでに第2次答申を提出する予定です。市はその答申を踏まえ、来年3月までに行政改革へ取り組みを大綱としてまとめ、市役所の仕事などを広い範囲で見直します。

●問い合わせ　企画政策課☎33-1253

小澤市長に第1次答申を手渡す加藤良三委員長(左)

行政改革の推進体制



諮問事項と第1次答申の内容

諮問事項	答申の主な内容
市民参加と開放	新たな市民参加を求めて
	・市民と行政との情報交流の充実と市民の自治意識の高揚に努め、市民参加の真合づくりを進めること ・行政や民間企業などのそれぞれの特質をうまく組み合わせてまちづくりを進めること
行政サービスの向上	顧客満足の行政サービスの展開に向けて
	・市役所は、顧客満足の考え方で市民サービスを行うこと ・市役所は、市民に対する接客態度の向上に努めること ・供給主体や財政負担の あり方を示した行政サービスの基本的な考え方を、事業ごとに検討すること ・行政情報と地域情報のネットワーク化を進めること
効率的な行政運営と行政能力の向上	政策主導型の市民運営に向けて
	・政策を企画立案する人材を育てるため、職員研修制度などを一層充実すること ・仕事が より早く円滑に実行されるような仕組みと政策主導型の組織づくりをめざすこと ・仕事の見直しと簡素化を行政自らの努力で継続すること ・新しい財源の検討や経費の節減をより一層図ること

平和都市宣言を大切に

8月15日に開催した「戦後50年平和のつどい」で、「小田原市平和都市宣言」の額を市役所2階市民ロビーに掲げました。宣言文は、次のとおりです。

わが国は、世界で唯一の核被爆国であり、国民は、日本国憲法にもとづく恒久平和の実現をめざし、世界から核兵器を廃絶することを共通の願いとしています。

わたくしたちのまち小田原は、過去に戦災を被るという悲しい歴史をもっています。そして多くの歴史的文化遺産を守り続けてくるわたくしたちには、こうした惨禍をくり返すことのないよう、平和を守りさらなく城下町を次代へ引き継いでいく責務があります。

小田原市は、美しい地球を大切にし、輝かしい人類の未来を信じ、世界平和を実現するため、ここに永久に平和都市であることを宣言します。

教育委員長に本多さん

市教育委員会9月定例会で、教育委員長と委員長職務代理者が選ばれました。1年間でも任期が10月2日から1年間でも任期は9月2日から1年間ですが、教育委員長　本多英夫さん

委員長職務代理者　教育委員長

●問い合わせ　教育総務課☎33-1672

市政にもっと女性の声を 女性登用の指針を定める

市民が行政に直接意見を言う機会として、審議会などがあります。こうした機会に多くの女性に参画していただき、市政に女性の意見を生かすため、市は、審議会等への女性登用推進の指針を定めました。

10月1日現在、市の審議会などに参画する女性の構成比率は、21・81％で、昨年同時期20・06％に比べて、1年間で1・75％増えました。

この比率を30％以上にすることを目標に、①女性委員枠や公募委員枠を設ける、②委員構成を見直す、③女性ゼロの委員会をなくす、などの積極的な方策を盛り込んでいます。

今後は、毎年登用状況をお知らせします。

●問い合わせ　女性行政室☎33-1748

農業委員会役員も決まる

農業委員の改選で、新しい役員が選ばれました。任期は9月25日から3年間です。

●会長　松本次男さん

●会長職務代理者　内田喜雄さん

●農地委員長　渡邊　勉さん

●農地部会長職務代理者　山田昭さん

●農政部会長　小澤貴信さん

●農政部会長職務代理者　薗谷昭さん

農地部会長職務代理者　農地部会長　農政部会長　農政部会長職務代理者

●問い合わせ　農業委員会☎33-1748

まいたうんれぽーと ㊷

広報レポーター　冨田みどり（酒匂在住）

高校生のための一日看護体験

去る9月28日、私は市病院での「一日看護体験」に行ってきました。高校生に看護を理解してもらおうという趣旨のもと、看護婦さんのプロジェクトとして発足しました。広報おどりならびの参加者募集は毎年100人ぐらいの応募があるそうです。今年は7月9日、27日、28日の3日間で7月27日生まれ26日生まれ2人の高校生が参加しました。

当日、白衣姿に少々ひるむ。意味の高校生は、2人一組ずつ担当の科に決められ、院内を見学した後、看護婦さんとともに各病棟へ向かいました。いよいよ医療現場での体験です。看護婦宿は、午前1時間半、午後1時間の時間割りで行われました。修了後の感想文では、「参加させた高校生全員の成績を聞きました。統一様に感動を抱いたようです。朝のはいらず、ようやくようやくはいらず、そのとき私は、二時的な感動なのではないかと思いました。

そのとき私は、二時的な感動なのではないかと思いました。

そのとき私は、二時的な感動なのではないかと思いました。

高校生全員の感想を読んでいて、「看護婦さんの仕事は、とても大変なお仕事だ」という答えが出ていたようです。実際に患者さんとふれあって、「楽しかった」と答えた5人の高校生の感想に安心がもらえたのは、この体験が成功だったということになるでしょう。

それにしても、当初から明確な目的意識をもって参加する高校生が多いことに、私は驚いていました。1年生のときから参加して3年目、将来は助産婦をめざしているまねることで、自分の進路を決定付けていたのだと思います。

このように、「看護体験を通して、多くの高校生がこの職業に参加することを願っています。

記事の中の✓印の番号は、くらしのテレフォンガイドのサービス番号です。☎33-1266に電話をかけ、案内に従ってこの番号をダイヤルすると、案内を聞くことができます。休日や夜間でも利用できます。

広報 おだわら
ODAWARA PUBLIC INFORMATION

20歳になったら支え合い

安心です、国民年金

「公的年金は将来パンクして もらえなくなるから個人年金の方がよい」という声を聞いたことはありませんか？ でも、国民年金などの公的年金は、一番安全な年金です。

国が運営する年金

公的年金の運営費は国の負担し、基礎年金の3分の1は国庫負担されています。

経済変動に強い

年金額の価値が目減りしない、物価上昇に合わせて年金額が毎年引き上げられます。

税金が安くなる

納めた保険料は、社会保険料控除の対象となります。保険料は、全額が所得控除の対象になります。

生涯支給される

老齢基礎年金は生涯支給され、万一のときも、障害基礎年金、遺族基礎年金が支給されます。

国民年金基金に加入し、より豊かな老後を考える方は、国民年金基金に加入することができます。

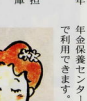
いろいろな特典が

国民年金に加入すると、マイホーム資金や教育資金など、年金保養センターを各地で利用できます。

20歳になったら国民年金に加入

20歳以上60歳未満の国民は、国民年金への加入が義務付けられています。老後や万一のときに加入しておくと、障害基礎年金、遺族基礎年金が支給されます。20歳になったら国民年金に加入しましょう。

●問い合わせ　保険年金課☎㉝



PL法あれこれ

安全ですか？あなたの暮らし

ふだん何気なく使っている製品で思わぬけがをしたことはありませんか？　国民生活センターに寄られるこれらの危害・被害は、毎年1万件に上り、表面化しない事例は、この20倍とも30倍ともいわれています。

損害賠償を請求できる

製造物責任法（PL法）制度は、製品の欠陥によって損害を被ったとき、製造業者に対して損害賠償を請求することができるという制度です。

賠償を請求できるのは、損害を知ったときから3年間以内、製造業者が製造物を引き渡したときから10年を経過するとともに、請求権はなくなります。

製品の欠陥とは？

PL法の対象となる製造物は、「平成7年7月1日以降に製造され、製造業者は加工されたもの」です。被害者は「故意・過失」の立証をする必要はありません。

製品の欠陥は、①設計上の欠陥、②製造上の欠陥、③表示上の欠陥、の3種類に分けられます。

この中で、「表示上の欠陥」とは、製品の説明や注意が足りないという「表示上の欠陥」も責任を問われます。

正しく使って事故を防ぐ

どんなに安全性の高い製品でも、使い方を誤れば事故につながります。製品の警表示等（製品取扱説明書を含む）を適切な使用方法を記載し、適切な使用方法を正しく読み、適切な使用方法を正しくしてください。こまめに保守・点検をすることも大切です。

万一、事故が起きたら、製品の写真やビデオを撮ると、被害状況を記録しておきましょう。また、事故発生消防署などに引き渡すときは、けがをしたときと薬局や医院の領収書を取っておきましょう。

お気軽に相談を

PL相談窓口は、市役所の市民生活課の消費生活相談（毎月第1、第4金曜日・午前9時～午後4時）、また、田原消費生活センター（☎0463-32-1）へお気軽にどうぞ。

●問い合わせ　市民生活課☎㉝

1396

知っておきたい安全のためのマーク

けがなどの危害を及ぼすおそれがあるとして政令で指定されている（特定製品）のうち、安全基準に合格したものにはSマークが表示されます。

日本玩具協会は、安全基準に合格した玩具にST（エスティ）マークを付けています。このマークの付いた玩具の安全性については、万一事故があっても、賠償責任保険の適用を受けられる玩具であるとされています。

構造や材質などによっては危険を生じるおそれがあるため、安全性を確保するために必要な認定基準があり、これに合格したものにはSGマークが表示されます。

日本煙火協会は、基準検査（火薬類取締法上の適否）と安全検査（義務としての危険の有無）に合格したものを一花火にSFマークを付けています。

人口動態調査にご協力を

●問い合わせ　戸籍住民課☎㉝

1391

今後の健康福祉政策に活かすとすることが、法律で定められています。このため、今年度いっぱいは戸籍の届書に調査票を記入していただきます。

●調査期間　平成7年4月1日～8月31日

●調査対象　出生・死亡・死産・婚姻・離婚の各届を出すとき

●調査方法　各届書を提出するときに、「専門職」「事務職」「農業」「建設業」などの産業も合わせて記入していただきます。※死亡届には、「農業」は記入しません。

※届出窓口に「出生届・死亡届・死産届・婚姻届・離婚届」を備え付けます。

●問い合わせ　保険年金課☎㉝

1867

パスポートが変わります

旅券法が改正され、11月1日から旅券（パスポート）の申請手続きが変わります。

有効期間10年に延長

現行の5年間旅券に加え有効期間10年の旅券が発行されます。いずれを選ぶかは、ただし、20歳未満の方は5年旅券のみです。5年旅券が7万円、10年旅券が12万円（12歳未満は半額）です。

子供の併記制度の廃止

15歳未満の子供が親権者の旅券に併記されていた子供の記載が廃止されます。

申請用紙の変更

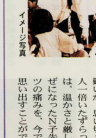
11月1日から申請書の様式が変わります。申請用紙は市役所の市民生活課、戸籍住民課（いずれも本庁舎2階）、支所、連絡所、駅前窓口コーナーに用意してあります。

●問い合わせ　神奈川県パスポートセンター☎045-671-7201、国際交流課☎0462(23)8661

時の顔

絵・近藤信一（飯田同在住）

田村 亮子（柔道選手）



イメージ写真

市長随想

N子先生

文 小澤良明

久しぶりの小学校のクラス会に出かけた、クラス会も、小、中、高校とそれぞれ違う。

残念ながら、当時みんな無垢だったし、貧しい時代だったし、それだけに想い出話も、それだけに想い出話も、それだけに想い出話も

揺らせ心 響け歌声

「歌いたい子供たちの心を大切に」を合言葉に、小田原少年少女合唱隊は昭和38年の結成以来、32年の間、活動を続けています。

「合唱」というひとつの歌の形態を通して、子供たちは歌う楽びや喜しみもちろん、ものごと、仲間との協調性や友情の大切さ、人間と人間とのふれあいの素晴らしさを感じてくださることでしょう。

皆さんは、感じる心を持っていますか。身近な生活の中でも、「感動」はたくさんあります。豊かな心を持って潤いのある生活を過ごしてみてはいかがですか。

イタリアで大活躍の小田原少年少女合唱隊

小田原少年少女合唱隊は、結成以来、後援会の支援を受け、桑原妙子さん（日本声楽発声学会理事）の熱心な指導のもとで活動を続けています。現在のメンバーは、小学校2年生から高校2年生までの少年少女合唱隊と高校生以上と卒業生による「ルネ・マルベリー・クワイアー（女声）」、「マルベリー・メールボックス（男声）」の総勢109人です。

「目が見えない人には歌で、耳が聞こえない人には表情で感動を伝えよう」と桑原さんの指導理念、桑原さん自身、非常に豊かな表現力の持ち主で、ふんだんに例えを使って、分かりやすい指導をしています。「先生のものの例えはとてもおもしろく、小さな子供でもすぐに理解することができる」と隊員たちは口をそろえます。また、歌は心を表すため、感想ノートにより一人ひとりの心のケアも続けています。

毎週土曜日の午後は小学生から高校生までが、夜は男性が練習します。また、毎週日曜日の午前中は、小学校6年生から高校生までの練習で、正しい姿勢で、楽譜と鉛筆を持ち、真剣なまなざしで指導を受ける子供たち。桑原さんは、合唱そのものだけではなく、心で歌う姿勢を教えます。午後からは、マルベリー・クワイアーの練習。押しだけではなく、意見をぶつけ合いながら自主的に練習をしようという意欲が感じられました。チームワークが抜群な理由はここにあるのでしょうか。

練習での成果が実り、8月24、25日にイタリアのアレッツォで開かれた国際合唱コンクールに参加することができました。結果は、国部門（7団体参加）でマルベリー・クワイアーがグランプリ、児童部門（7団体参加）でルネ少年少女合唱隊が4位。このコンクールは演奏水準が非常に高く、世界で5指に入ると言われています。

報恩講講堂での練習風景

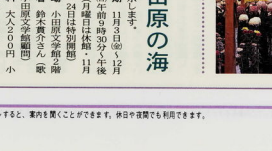
マルベリー・クワイアー10周年記念コンサート

昭和60年の結成以来、初の単独コンサート。

●日　時　演　奏　10月29日(日)午後2時

●会　場　カザルスホール（お茶の水スクエア）

●問い合わせ　マルベリー・クワイアー（岡本）☎0463(62)2872


少年少女合唱隊のイタリアでの演奏

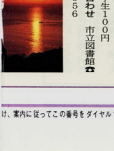
グランプリの盾

マルベリー・クワイアーのイタリアでの演奏

判断できる目を持ってくれたらと思っています。大人になるにつれて感動することが少なくなってきます。多感な子供世代にさまざまな経験を積み、ぜひ感動する心を養ってほしいですね。いなくても、隊員の喜びや苦しみ、つらさを共に感じ、主婦を通していただけてはいかがでしょう。貴重な経験をすることができたと思っています。

枝野朝子さん（大学院生）

クワイアー初の単独コンサートを開きます。すべて自分たちで企画したコンサートなので、歌える喜びと不安が入り交じった心境です。場所がお茶の水で、少し遠いのですが、多くの方に



場を見つけることができ、自信が持てるようになりました。また、後輩のリーダーシップをとることでは責任を感じています。

小田原文学館特別展 文学に見る小田原の海

文学館では、開館一周年を記念して特別展を開きます。

小田原は明治の中ごろから保養地として知られるようになり、その頃は風景に恵まれ、静かでやかな風景にひかれ、貴族の出身の文学者たちや、有名人を始めとした多くの文学者が訪れました。

この土地を訪れ、また移り住んだ文学者たちは小田原の海をこよなく愛し、作品の舞台としています。

特別展ではこの「海」をテーマに、古き良き時代を中心とした幅多の作

●会　期　11月3日(祝)～12月3日(日)午前9時30分～午後4時（月曜は特別展）、11月4日は特別休館

●会　場　小田原文学館2階

●観覧料　大人200円、小・中学生100円

●問い合わせ　市立図書館☎0156

料を展示します。

●会　期　11月3日(祝)～12月4日(月)午前9時30分～午後4時（月曜は休館）、11月3日(祝)～15日(日)午後4時30分

●会　場　小田原城址公園

●問い合わせ　観光協会☎0155-22-5002　観光課☎0156

県下で最大 小田原城菊花展

丹精込めた約800鉢の菊作りの逸品を、驚くべき、美しい。

●日　時　11月3日(祝)～15日(日)午前10時～午後4時30分

●会　場　小田原城址公園

●問い合わせ　観光協会☎0155-22-5002　観光課☎0156

あの感動をもう一度 市民ロビーコンサート

イタリアで好評だった振袖を着て日本の歌を無伴奏で歌います。

●日　時　10月29日(日)午後0時20分～0時50分

●プログラム　小果ポップス/さくらさくら/おてもやん/赤とんぼ/青葉城の月など全10曲

●会　場　市役所5階ホール

●問い合わせ　文化交流課☎1706

は、実内に従ってこの番号をダイヤルすると、案内を聞くことができます。休日や夜間でも利用できます。

広報 おだわら
ODAWARA PUBLIC INFORMATION

時のまろうど

新・北條五代記(7)

史跡小田原城跡調査整備委員会委員
静岡大学教授 小和田 哲男

北條早雲小田原城入城五百年

氏康の領国経営

後北條氏は、初代早雲のときから戦国大名として登場した戦国大名の中で最も古い戦国大名の一つである。戦国大名は、一つには、守護大名が在国制の上に乗っかっているのに対し、戦国大名は在国制を否定してた点である。

そしてもう一つは、守護大名が幕府・将軍に依拠していたのに対し、戦国大名は幕府・将軍に頼らないで、自分の力で生きていかなければならないことから自立していた点にある。

在国制の在っていることがつきり明確されたのが、戦国大名には地域の施行ってある。後北條氏は、すでに初代早雲のことを「伊豆の国の百姓から身を起こした」と言っていたように、早雲のときから戦国大名として登場したのである。

後北條氏は、初代早雲のときから戦国大名として登場した戦国大名の中で、最も古い戦国大名の一つである。

そしてもう一つは、守護大名が幕府・将軍に依拠していたのに対し、戦国大名は幕府・将軍に頼らないで、自分の力で生きていかなければならないことから自立していた点にある。

在国制の在っていることがつきり明確されたのが、戦国大名には地域の施行ってある。後北條氏は、すでに初代早雲のことを「伊豆の国の百姓から身を起こした」と言っていたように、早雲のときから戦国大名として登場したのである。

そのあと、後北條氏では、当主が死んで代が替わったとき、かなりがらがらな地を施行っているこれを「代替わり検地」と言っている。

家臣を個々に支配する地域を定めて、検地を行なう。

これを「知行割」という。

10年の間は、忙しくて面倒くさいと思ったこともあります。

しかし、自分が合理的に加わって理し、貫高の六パーセントにあたる銭とし、貫高の四パーセントにあたる銭とに整理統合したのである。

農民たちは一年貢のほか、段銭・棟銭・棟別銭のいわゆる三銭を負担させられていた。

これは、農民たちの所有の状態が、段銭・棟銭・棟別銭の三税に一定に統合されればよいことになったのである。

なお、このときの氏康の検地は、自分の家臣の所有や年貢に反発しており、有力家臣の所有や年貢に反発しており、氏康の身分を考慮した。

そして、氏康の施策によって、小田原城の城下町が、樂所(楽所)屋敷(樂所屋敷帳)などといわれることもあり、氏康時代の後北條氏家臣団の名簿のようなものを、そのまま引き継がれて、それも間違いである。

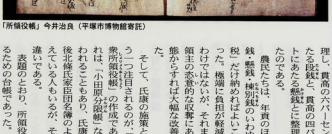
表題のとおり、所領役をかけるための台帳であった。ただ、表題は小田原衆とあって、小田原衆だけに限定されていたのの原衆だけに限定されていたのの印象を受けるが、実際は小田原衆だけでなく、玉縄衆や江戸衆、伊豆衆、津久井衆、三崎衆などの全部で十八の衆が記載されている。

一番最初が小田原衆だったため、それが全体の表題になってしまったのである。

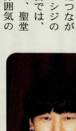
ところで、所領役帳とは、これは、家臣たちが所持する所領に応じて軍役を負担することを、請役などいう。

この小田原衆樂所屋敷帳が作成されたのは永禄二年(一五五九)年のことである。その後、樂所屋敷帳は、これを元手に、修正を加えられて、何度かの改訂が行なわれていたと考えられます。

しかし、家臣団統制がなかなか難しかったことを物語っている。

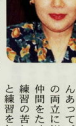


「所領役帳」今井治良(平塚市博物館客員)



結成から指導している 桑原妙子さん

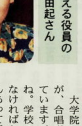
今回での練習の積み重ねが、今回のイタリア・アッツォ国際合唱コンクールの場合、どうぞ仲間のうまいことなりました。子供たちが、お金でもを判断するのではなく、歌を通じて、感じる心やものの真の価値を子供が減ってきているのは残念いことです。多くの方にもたちの演奏を聴いていただきたいと、感動したり興味を持ったりした方は、どうぞ仲間になってください。練習を見学するだけでも結構です。



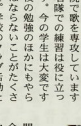
合唱を陰で支える役員の一人 岡本美由紀さん

少年少女合唱隊との関わりは、子供が合唱隊のメンバーの中で、酔いにくいから演奏するこの中で、隊員も非常に感動したのではないでしょうか。

最近は、お金を出せばどんなものでもいろいろ入れることができるようになりました。子供たちが、お金でもを判断するのではなく、歌を通じて、感じる心やものの真の価値を



小坂桂子さん(高校3年生)



山田美鈴さん(高校3年生)

取材後記

学校院で歌を専攻しています。合唱隊での練習は役に立っています。今の学生は本気でとても実践して世界史に出ていて、ね。学校の勉強のほかにもやらなければならないことがたくさん、学校のクラブ活動との両立に悩んでいました。練習が苦しさよりも、一緒に仲間たちとさぶれて、練習の苦しさを乗り越えることが、とっても、とても楽しいことなんです。

山田美鈴さん(高校3年生)

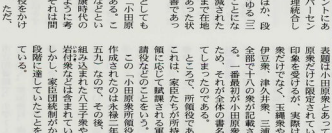
クリスマスコンサートで感動してテストがきっとうけれども、小さなころから内気な性格でした。合唱隊に入り、自分を表現する

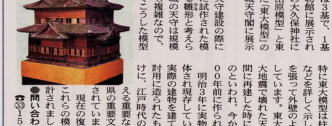
子供たちの笑顔を絶やさない明るい表情が印象に残りました。

感動する心を持った卒業生たちは、その後も、歌を続けている人もいます。看護婦や教諭になっている人多いそうです。

子供たちの人の喜びや悲しみを共に感じられるかもしれません。

皆さんもちょっと立ちかがってみてください。きっと感動することがあるはず。広報広聴課☎33-3261





きらめき情報

お知らせ

福祉医療相談

福祉医療相談が、高齢者の疾病や障害に関する家庭問題などの相談を行います。秘密は厳守します。

日時 11月9日(木)午10時～午後3時、11月16日(木)午10時～午後3時

問い合わせ 社会福祉協議会で、無料。**問い合わせ** 社会福祉協議会☎3000

10月は労働保険適用促進月間

労災保険・雇用保険に加入しましょう！

労働保険は、人でも雇用する事業主は、必ず労働保険（雇用保険、労災保険）に加入しなければなりません。未加入の事業主は、すぐに手続きを。**問い合わせ** 労働基準監督署☎044(211)7330

労働部雇用保険課☎045(2[illegible]1)1461、1105、県労働基準局☎045(211)7330

行政相談週間

10月15日(日)は行政相談週間。10月月例行政相談週間。市は10月19日午後1時～4時に市役所2階市民談室で行政苦情相談を開催。国、県、市に言いたいことなど苦情相談受付を行います。また、毎月相談受付を行っています。

行政相談

第3木曜日は行政苦情相談日。また、市の行政苦情相談は次の方々です。岩上善一郎（栄町2-8、☎33-0409）、岸忠義（小竹1188-8、☎33-9950）、吉木泰夫（酒匂2-25-21、☎43-8224）、小山公一（栄町3-8-2、☎33-7553）、**問い合わせ** 市民相談室☎33-1383

もよおし

核廃絶をめざして平和の願い市民展

元米海兵隊メカニックの場合、広島や長崎の被爆、ヒロシマ、ナガサキ、ビキニ、核実験による被害、民の描いた原爆絵集などを展示。

日時 11月3日(祝)、市民会館で、入場無料。**問い合わせ** 原爆被災者の会☎0737

ゼミナール

新年記あきない塾

先進商店街の視察や商業活花化対策の討議など実践的なゼミナールを開催。対象は商業経営者。継続して出席する意欲のある方の参加をお待ちしています。定員15人、11月上旬～3月上旬の5回。開催日、受講料、現地視察の日程、食費は自己負担。**申し込み**文書、商工課☎3511

全日本盲目マラソン大会

小田原で開催

11月11日陸上競技場と周辺路をコースに開催。当日は午前10時～11時30分に視覚障害者の部、午後1時～3時に社会福祉センター市立病院の間で交通規制実施。**問い合わせ** 日本盲人マラソン協会☎2291

ドッチボール教室

10月28日(土)午後1時～5時。対象は小学3年生～6年生。参加料無料。**申し込み**10月18日まで、電話または FAX で代表者名、チーム名、人数、住所、電話番号を県ドッチボール協小田原支部・本多☎33-7100、FAX☎33-7153へ。

手作り絵本展

世界でたった一冊の本、あなたもメルヘンを作ってみませんか。10月27日(金)～11月5日(日)の間、午前10時～11時30分、午後1時～4時。かもの図書館で、通常の開館時間。**問い合わせ** かもの図書館☎49[illegible]7800

将棋の対局と大会

●女流プロとの指導局 NHK杯戦の中継棋士・藤森奈津子さんの3面指し。11月12日(日)正午から小田原会館（歩行者天国）で。

●月例将大会 11月26日(日)午前10時から小田原会館で。26日、27日の2日間、A級5局、B級5局、会費1000円。

●問い合わせ 渡多喜子☎0814[illegible]04

小田原男声合唱団定期演奏会

11月11日(日)後6時30分開演。松田町文化会館で。**問い合わせ** 井上☎0465-[illegible]

小田原民謡連盟

11月11日(日)後6時30分開演。小田原市民会館で。**問い合わせ** 井上☎0465-[illegible]

映画上映

「忘れられた供たち」スカンペンジャー（こどもを捨てて生活をする人たち）を上映。11月2日(木)午後6時～9時。**問い合わせ** 小田原ライフ・ネットワーク[illegible]

子育て講演会

10月22日(日)午後2時～3時。市役所7階大講堂で、講師は小田原医学子育期大学助授・中一郎さんと、講題は「健全育児指導者としての心がまえ」。**問い合わせ** 青少年相談センター☎0[illegible]4811

ビデオ撮影編集講座

講座編集クニックを学ます。

日時 10月25日(土)12月2日(日)の3回開。午後1時～5時。**内容** 「定員になる次第締めの」テープ代を400円が必要。カメラのスイッチに切り換え、かもの図書館無料で貸し出し。**代金**持って、直接お申込みを。受けけは10月18日(水)午前9時から。**問い合わせ**かもの図書館

ビデオ撮影編集講座

講座編集クニックを学ます。

日時 10月21日、11月4日、11月18日の3回開。午後1時～5時。**内容** 「わが青春に悔なし」。**対象**は中学生以上。**代金**1人400円が必要。**問い合わせ** 小田原市立図書館☎0465-[illegible]

日本の映画史に残る名作をみる会

10月21日、22日（祝）、戦争と平和「ひめゆり塔」。10月22日、23日（祝）、「ひめゆり塔」。10月29日、30日、「ビルマの竪琴」。11月4日、5日、「戦争と平和」。**会場**は文化会館（小田原市）。**問い合わせ** 日本の映画史に残る名作をみる会事務局☎34-3175内線604

子供の行事

図書館員の児童文化行事

●クイズ大会「小田原城のナゾをさがれ！」楽しいクイズとゲームで城太公園を探検。11月5日(日)午前10時～11時30分、市立図書館で、小学1～6年生先着60人。**参加**無料。**講師**は児童文化専門委員・筆記用具持参。

●ものがたりの会

●ものがたりの会

●ものがたりの会

広報 おだわら
ODAWARA PUBLIC INFORMATION

けんこうコーナー

◎問い合わせ・申し込み…保健センター ☎47-0820

●成人病予防

40歳以上の方に、基本健康診査、肝炎ウイルス検査、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診の「受診券」を発送しました。

目的健診は、全身の健康状態を調べるもので、**がん検診**は、がんの発見が始まる年代から、がんの発見が始まる年代までを対象にしています。

ただし、神経の疾患には、単に体を動かしたり、心臓が早くなったりすると、心身ともに過度になります。早朝、早めに休養をとりましょう。

神経の疾患には、単に体を動かしたり、心臓が早くなったりすると、心身ともに過度になります。早朝、早めに休養をとりましょう。

ただし、

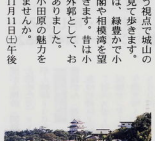
郷土文化館の郷土研究講座
小田原城とその城下を探る

○11月11日(土)
・テーマ「小田原城の発掘の成果」
・講師 文化財保護課・諏訪間順
○11月18日(土)
・テーマ「民が語る小田原城」
・講師 文化財保護課・大島延一
○11月25日(土)
・テーマ「小田原城出土のやきもの」
・講師 文化財保護課・山口剛志
●時 間 いずれも午後1時30分～3時30分
●会 場 郷土文化館会議室
●対 象 中学生以上の方
●定 員 各講座とも先着50人
●受講料 無料
●申し込み 10月4日(水)から直接または電話で郷土文化館☎(93)1377へ

(小田原城三の丸小学校内遺跡)

まち歩きツアー
小田原らしさの発見! 城山を歩こう

景観という視点で城山のまち並みを見て歩きます。城山の丘陵は、緑豊かで小田原城天守閣や相模湾を望むことができます。昔は小田原城の大外郭として、お堀や土塁がありました。あなたも小田原の魅力を見つけてみませんか。
●日 時 11月11日(土)午後1時に小田原駅西口改札前に集合 1時15分出発(雨天決行)
●コース 城山丘陵からの眺望やまちなみを見て歩きます。
●定 員 申し込み先着順30人
●参加費 無料
●申し込み 10月31日(火)までに、電話で都市計画課☎(33)1573へ

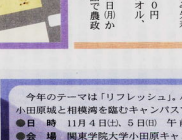


家族で収穫
小田原のフルーツ

ミカン、レモン、キウイなど、フルーツいっぱいのアグリパークで遊びませんか。もぎ取り体験やジュース作りなど、お楽しみもいっぱいです。
●日 時 11月11日(土)午前9時30分に米神オレンヂセンター前に集合、午後3時ごろ解散。
●場 所 市内米神
●内 容 ミカン、レモン、キウイフルーツもぎ取り体験・レモンジュース作りやいーペキッスなど
●対 象 市内の小学生と保護者(低学年の児童は保護者が同伴)
●募集人員 申し込み先着順60人
●参加費 1人500円
●持ち物 軍手、タオル、弁当
●申し込み 10月16日(月)から20日(金)に、電話で農政課☎(14)1491へ

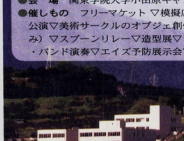
図書館特別映画会

●日 時 11月3日(金)午後1時開場、1時30分上映
●会 場 かもめ図書館
●上映映画 「追憶」字幕スーパー
●出 演 バーブラ・ストライサンド/ロバート・レッドフォード
●定 員 先着180人
●入場料 無料
●問い合わせ かもめ図書館☎(93)7800



関東学院大学小田原祭
滄浪祭(そうろうさい)

今年のテーマは「リフレッシュ」。パワーアップした企画が盛りだくさん。小田原城と相模湾を臨むキャンパスで楽しい一日をお過ごしください。
●日 時 11月4日(土)、5日(日) 午前9時30分から午後4時
●会 場 関東学院大学小田原キャンパス
●催しもの フリーマケット▽模擬店(たこやき、焼きそばなど)▽演劇公演▽美術サークルのオブジェ▽制作▽ソフトボール大会(要事前申し込み)▽スプーンリレー▽造型展▽フィーリングカップル▽オーケストラ・バンド演奏▽ポイズ予防展示会▽城山幼稚園製作展(絵画、工作)



4日(土)の催し
○お笑い芸人のトークバラエティーショー「U」
●時 間 午後1時から
●出 演 「オ・チューン」底ぬけAIR・LINE(うらら)。詳しくはチケットひろば、または問い合わせ先へ
●入場料 有料

5日(日)の催し
○後夜祭コンテスト
○後夜祭 午後4時から
・ミスキャンパス表彰式
・ビンゴ大会
＊無料送迎バスあり 小田原駅西口発午前9時から午後4時(約30分間隔)
●申し込み・問い合わせ 関東学院大学小田原キャンパス学生生活課☎(92)2602、FAX☎(92)2612

滄浪祭・小田原市共催事業
ポイ捨て禁止サミット

空き缶やたばこの吸い殻などの「ポイ捨て」と、「ポイ捨て禁止条例」について語り合う。
●日 時 11月5日(日)午後1時から4時
●会 場 関東学院大学5号館301教室
●出席者 茨城県水戸市長、栃木県真岡市長、山形県最上町長、川崎市商店会長、関東学院大学学生、小田原市長
●問い合わせ 環境総務課☎(33)1471